

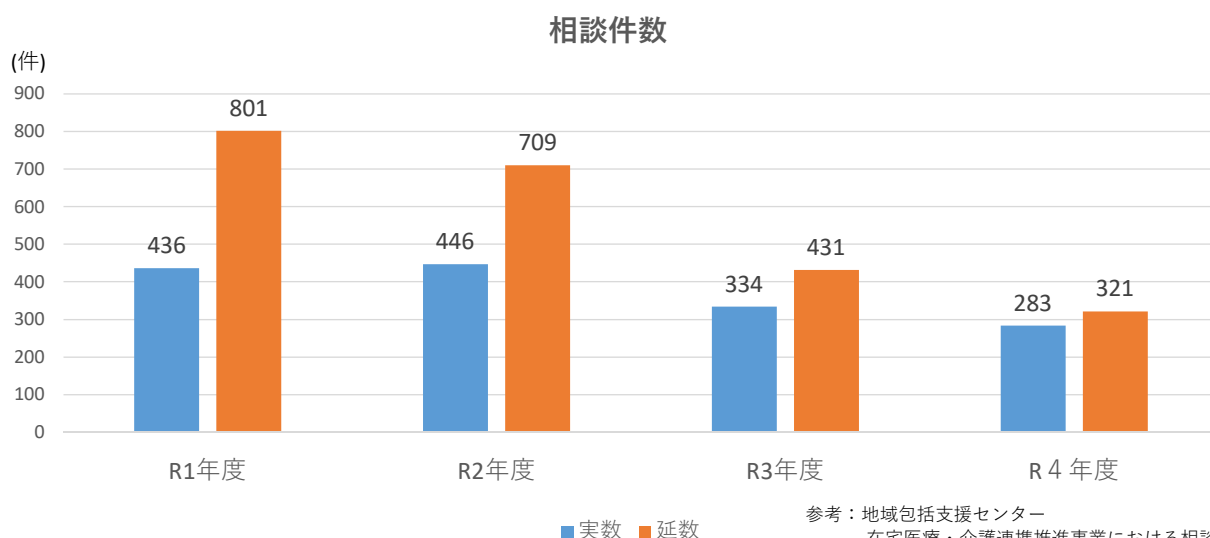
柏地域医療連携センター 相談状況

【令和4年4月～令和5年3月】

地域医療推進課

1

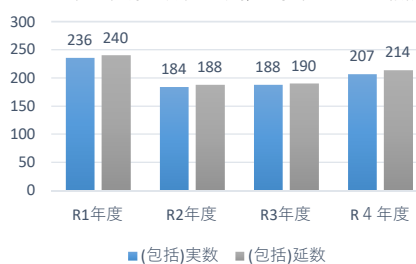
1 - ① 【相談全体】 相談件数



○ R4年度の相談件数は、実数延数ともに前年度より減少している。

※ R3年度から、相談に至らない情報提供などは件数に含めていない。

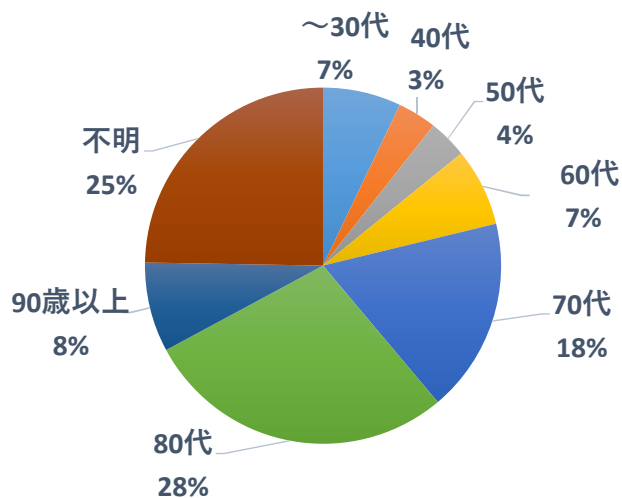
参考：地域包括支援センター
在宅医療・介護連携推進事業における相談件数



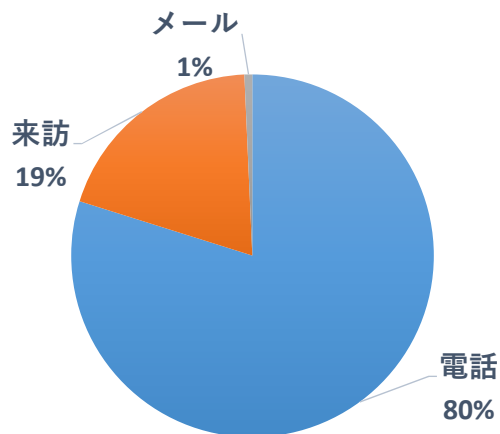
2

1-② 【相談全体】 相談対象者の状況

年齢構成



相談形態



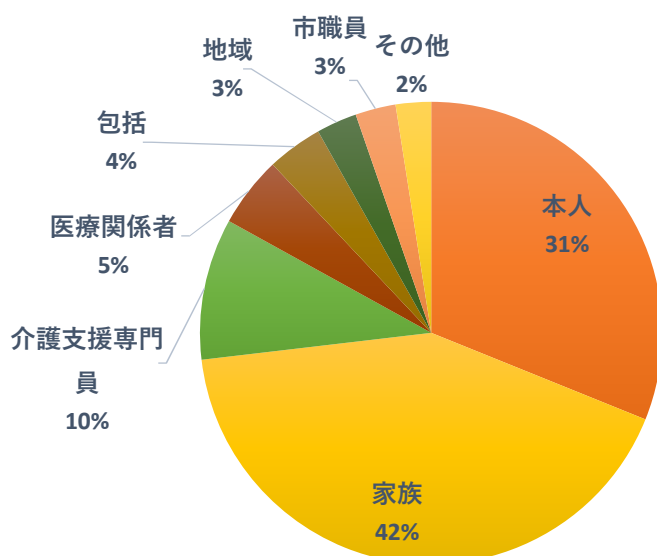
N = 283

- 相談対象者は60代以上が約6割だった。
- 相談形態は、電話が約8割を占めている。

3

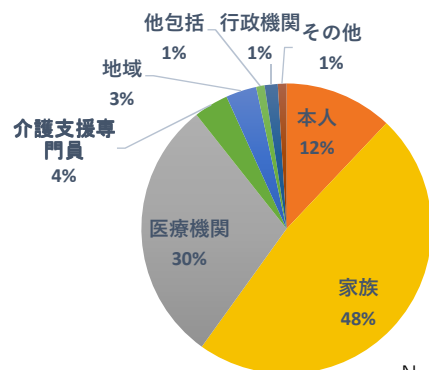
1-③ 【相談全体】 相談者の状況

相談対象者との関係



N = 283

(参考：地域包括支援センター)



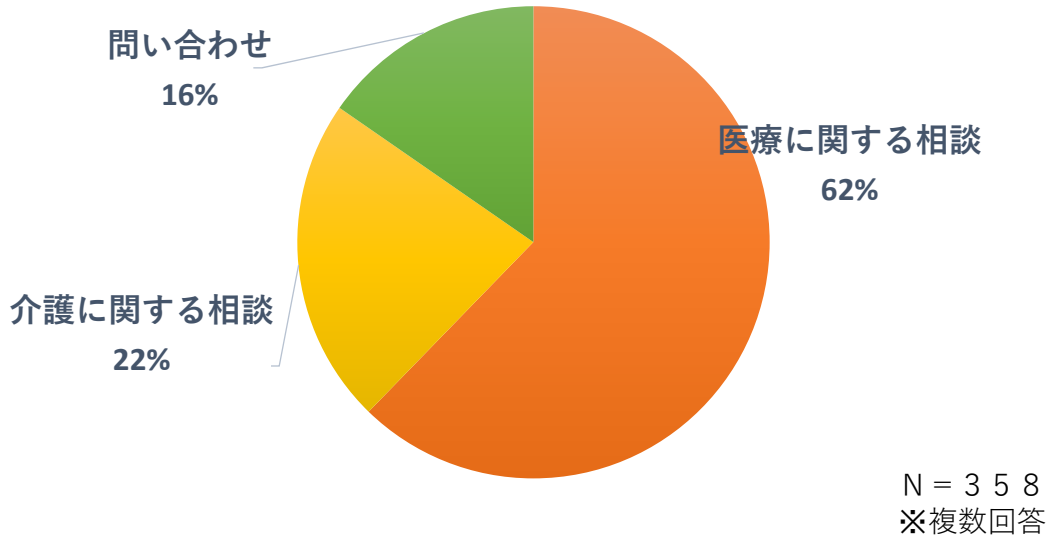
N = 207

- 本人・家族からの相談が約7割だった。
- 本人家族以外の相談は、介護支援専門員、地域包括支援センター、MSWの順となっている。

4

1 - ④ 【相談全体】 相談内容および対応内訳

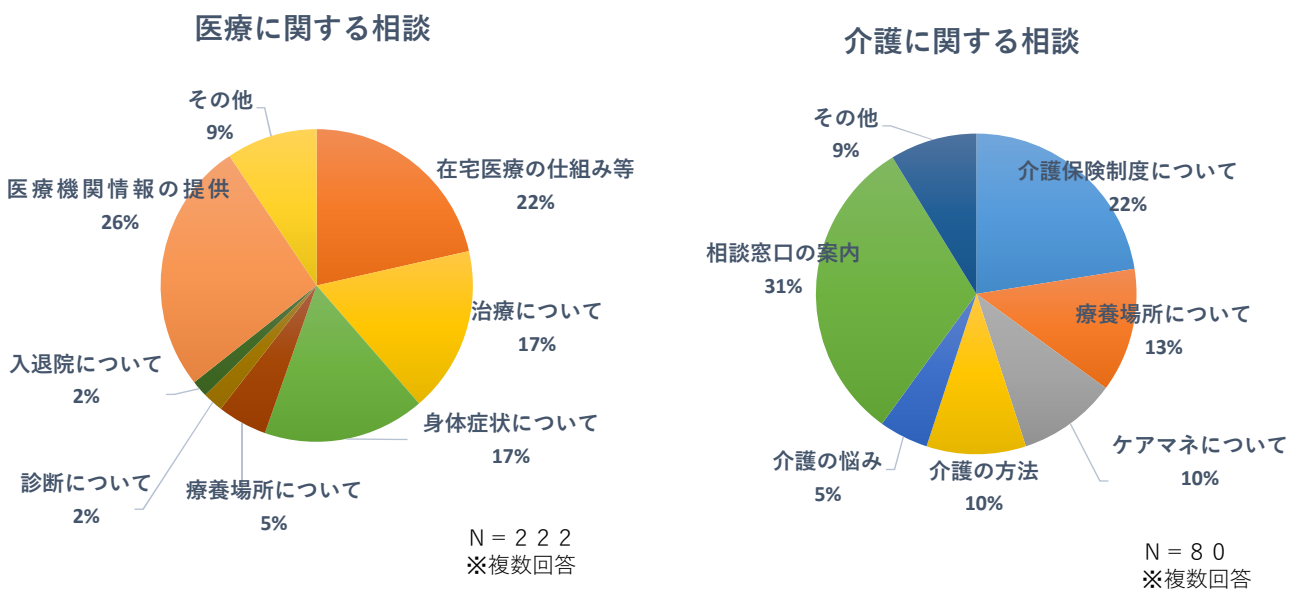
※相談は、各項目を同時に受けることがあり、それぞれでカウントされている。



- 医療に関する相談が約6割、介護に関する相談が約2割だった。
- 問い合わせは、行政の取り組みに関することや対応窓口の案内などだった。

5

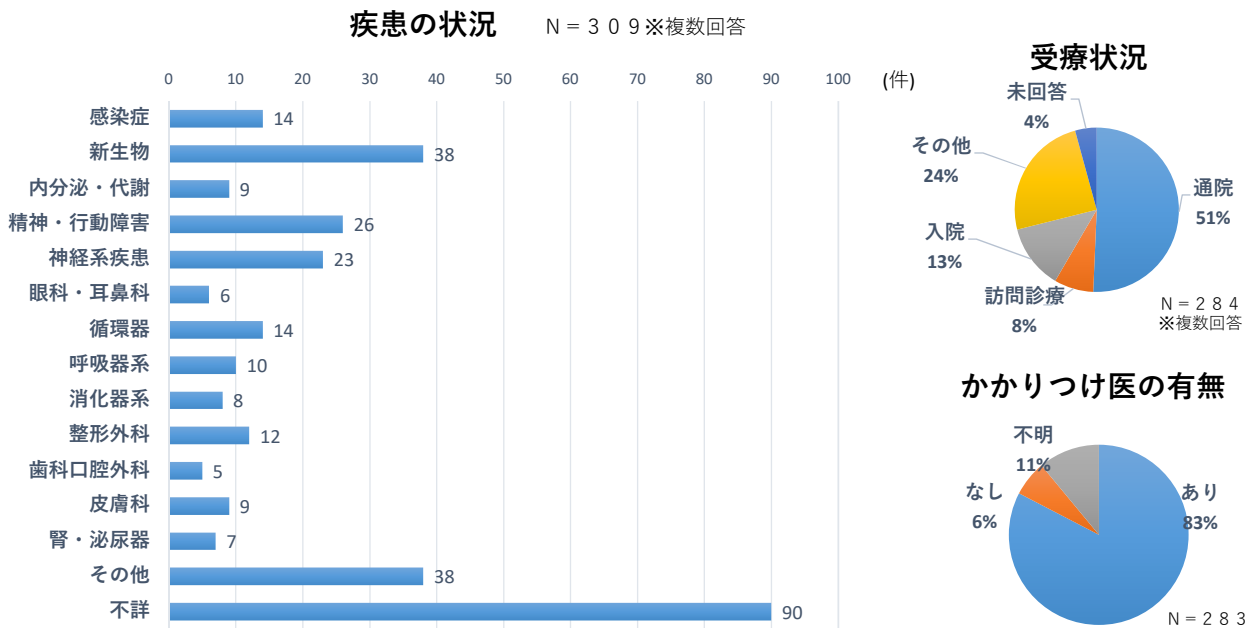
1 - ⑤ 【相談全体】 相談内容および対応内訳



- 医療に関する相談は、在宅医療の仕組みや受けている治療，身体症状に関するものが多かった。
- 介護に関する相談は、介護保険制度や療養場所，ケアマネに関する相談の順で多かった。
- 各相談項目と併せて、医療機関情報の提供や相談窓口の案内をしていることが多い。

6

1 - ⑥ 【相談全体】 相談対象者の疾患および受療状況



- 相談対象者の疾患は、広く多岐にわたっている。
- 「不詳」は、健診に関することや在宅医療の仕組みへの問い合わせなど、疾患と直接関係のない相談だった。
- 相談対象者は、約8割がかかりつけ医を持っていた。

2 - ① 【相談レビュー】 概要および機能

目的：連携センターの総合窓口における相談技術の向上及び相談機能の体制強化を図る。

1. 課内レビュー

相談内容の情報共有・相談員のスキルアップと標準化

- ・全相談件数の報告・共有・対応検討

2. 医師レビュー

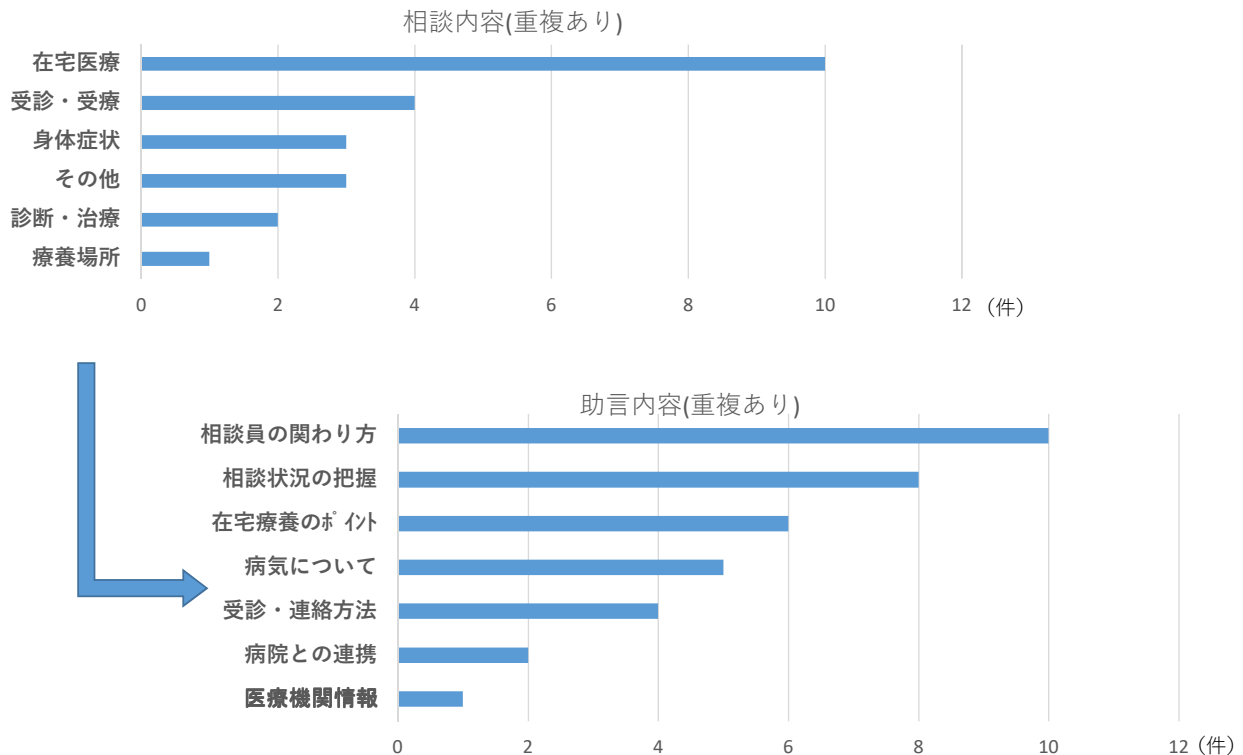
専門的助言により相談の質の担保・相談員の人材育成

- ・柏市医師会（在宅・プライマリケア委員会）推薦医師を柏市の非常勤特別職員として委嘱
- ・医療および介護に関する相談から抽出したものについて助言

3. 柏市医師会「在宅・プライマリケア委員会」報告・共有

- ・毎月の相談状況と医師レビューの報告

2-②【相談レビュー】 医師レビュー相談および助言内容



○連携センターに入っている相談内容について共有するとともに、相談員の関わり方を中心に助言を受け、相談対応に活かしている。

9

3 今後に向けて

○ 市民が気軽に相談できる窓口としての機能の維持向上

医師レビュー等を通して相談技術の向上に努め、市民等からの相談に対し、必要な支援や制度および地域包括支援センター等の関係機関に繋げていく。

○ 医療・介護関係者への相談対応および連携支援の継続

地域包括支援センター、医療機関および職能団体との調整（後方支援機能の役割）を通して、多職種連携が円滑に行われるよう支援していく。